

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1142
施設名	仲町にここ保育園
施設所在地	小平市仲町351-38
法人名	社会福祉法人 豊仁会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日々の保育の中で、虫や自然に興味を持ち始めている子が多かった。園内や園周辺の環境として自然に触れる機会が多く、日頃から子どもたちから発見や気づきの声が多く挙がっていた。テーマを自然とし、より深く子どもたちの興味関心から広がる活動を行いたいと考えた為。

2. 活動スケジュール

6月 水に浮くもの、沈むものの実験、泥遊び

9月 砂搬入、泥水遊び

10月 狭山緑地フィールドアスレチック

11月 木育 (tree to green)

12月 移動果樹園

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

雨どい、泥遊びで使用する手作り玩具(浮くもの)、虫かご、マイクروسコープ、顕微鏡、手作り図鑑、手作りお散歩バック、

木のアスレチックがある公園への遠足、課外活動、丸太を室内に置く、外部への講師依頼(木育)、移動果樹園

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・移動果樹園：移動式果樹園で園庭にみかんの木を搬入。みかんについて知り、自分でみかんの収穫をする
- ・どろんこ遊び：園庭の砂場や砂の搬入時に水や雨どいなどの道具を用いてお山や川を作ったり、玩具を浮かばせて水や砂、土に全身で触れる
- ・狭山緑地フィールドアスレチック：様々な自然、生き物に触れ、マイクروسコープで観察したり、図鑑で見比べたり、木製遊具の感触に親しむ
- ・木育：tree to greenを招待し、木についての話を聞き、薄い丸太をトンカチで割りペンダント作りをした

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

「こっちの木はザラザラしてる」「近くで見るとこうなっているんだ(顕微鏡)」「なんか音がする(木の音)」「水が無くなって土がかたまった」「(掘った穴に水を入れた勢いを見て)川みたい」「浮いてるけど沈んだ」などの自然や現象の特徴に目を向けた発見や気づきの声が上がっていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちの発見や気づきの声を元に、次の活動へ繋げていった。保育士が促した活動ではなく、子どもからの発信を受けた活動内容の方が子どもが積極的に取り組んでいた。虫を怖がったり興味がなかった子もいたが、すくわくを通して少しずつ触れていった結果、親しみを持って自然遊びをすることができた。また保育士が子どもたちの疑問に対して答えを教えるのではなく、保育士も一緒になって考える姿勢を見せたり、試行錯誤できる環境を整えることで、子どもたちが自分で考えて取り組むことができるきっかけとなった。